

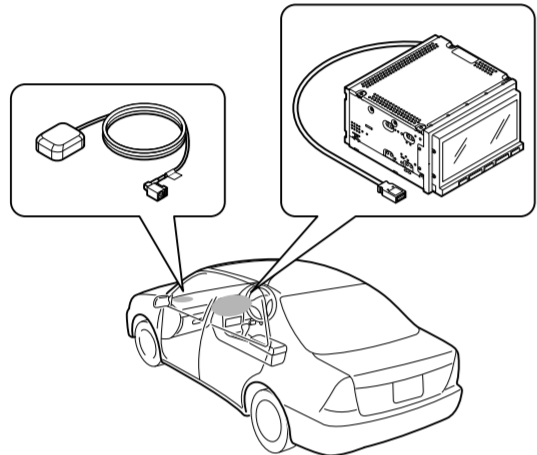
AVN-LBS01

取付説明書

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
 - 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
 - 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
 - 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
 - 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一販売店様へ
 取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお返しください。

取付概要図



安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

<p>警告</p> <p>この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>注意</p> <p>この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物の損害のみが発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>⚠️ : しなければならないことを表しています。</p> <p>🚫 : してはいけないことを表しています。</p> <p>⚠️ : 注意をしなければならないことを表しています。</p>	<p>● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なおことをご記載しています。</p> <p>アドバイス</p> <p>知っておくと便利なおこと、知っておいていただきたい内容を示しています。</p>
<p>警告</p> <p>● 本機は DC12V 〇アース専用です。大型トラックや乗用車以外のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。</p> <p>● 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。</p> <p>● プラスとマイナスの経路のショートによる感電やケガの原因となります。</p> <p>● 本機を次のような場所には取り付けしないでください。本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等に接触したまま場所、同様に感電を及ぼす場所等に絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。</p> <p>● トリル等に穴をあけて取り付けする場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付けする場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。</p> <p>● トリル等で穴をあける作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。</p> <p>● 本機を、目に入ると失明の原因となります。</p> <p>● 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品を使用すると、制動能力が低下し、事故の原因となります。</p> <p>● 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。</p> <p>● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えてヒューズを使用すると、火災の原因となります。</p> <p>● 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。</p> <p>● 万一、異音が入った、水が分かった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。</p> <p>● エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてはなりません。必ず事前に取扱説明書を確認してから作業を行ってください。エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けると誤作動を起こしたり、交通事故の原因となります。</p> <p>● 電源コードの被覆を切つて、他の機器の電源を取るとは絶対に止めてください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。</p> <p>● 接続したコードで使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。</p> <p>● ショートにより火災、感電の原因となります。</p> <p>● コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。</p> <p>● ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくこと事故の原因となり危険です。</p> <p>● 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器の動作を阻害したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。</p>	<p>警告</p> <p>▲ 車体のぬじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。コードが可動部に挟まれると、事故や火災の原因となる場合があります。</p> <p>● 本機に水や濡気、埃、油煙が浸入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。</p> <p>● しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。</p> <p>● 本機が外れて運転の妨げとなり交通事故やケガの原因となる場合があります。</p> <p>● しっかりと確実に取り付けしてください。</p> <p>● 走行中の脱着や経路中で、交通事故やケガの原因となります。取り付け場所の水分や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。取り付けの故障（音や匂いなど）も、ときどき点検してください。</p> <p>● 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところへ取り付けしないでください。</p> <p>● 金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の部品が高温になり、火災や故障の原因となる場合があります。</p> <p>● 本機の通風孔や放熱板をふさがしないでください。</p> <p>● コードが金属部に触れないように配線してください。</p> <p>● コード類が車体の高温部に接触すると発煙が起きることがあります。</p> <p>● コードの配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると発煙が起きることがあります。</p> <p>● コード類には、ヒューズが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となる場合があります。</p> <p>● 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。機器を動作させるための電流容量が不足し、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。</p> <p>● コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。雨、水の内への侵入を防ぐためコードの車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となる場合があります。</p> <p>● 本機を常態として以外に使用しないでください。感電やケガの原因となる場合があります。</p> <p>● 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。</p> <p>● 取り外し、取り付けには専門技術が必要です。</p> <p>● 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。</p> <p>● 不要なバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりする恐れがあります。</p>

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

● 本体関係

① メインユニット ×1	② 電源コード ×1	③ 中継コード ×1
④ 車両信号コード ×1	⑤ AUXコード ×1	⑥ バックカメラコード ×1
⑦ ハンズフリーマイク ×1	⑧ 地図専用microSDカード ×1	⑨ 取り付けねじ (M5×6) ×8
⑩ ショートコネクタ ×6		

● アンテナ関係

① GPSアンテナ ×1

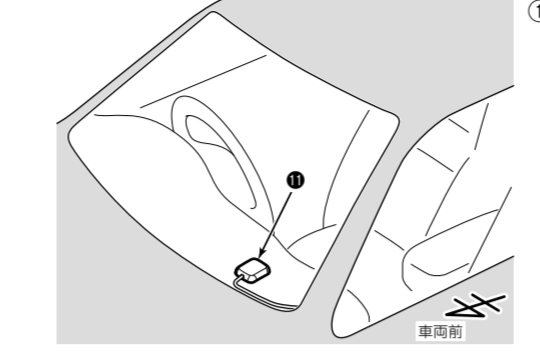
地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。
 その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書の資料類)

作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 4) GPSアンテナを取り付ける (☞ GPSアンテナの取り付け上のご注意) (☞ GPSアンテナの取り付け)
- 5) ハンズフリーマイクを貼り付ける (☞ ハンズフリーマイクの貼り付け (例))
- 6) メインユニットを取り付ける (☞ メインユニットの取り付け)
- 7) バッテリーの端子を元に戻す
- 8) 設定および作動確認をする (☞ 取り付け後の設定 / 作動確認)

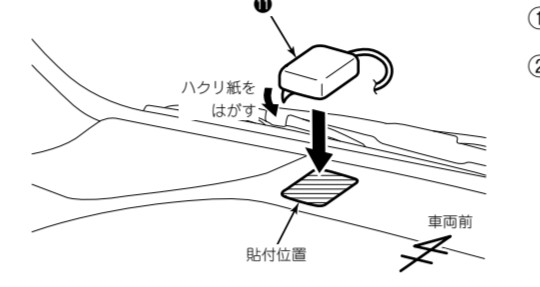
GPSアンテナの取り付け

1 GPSアンテナの貼付位置を決める



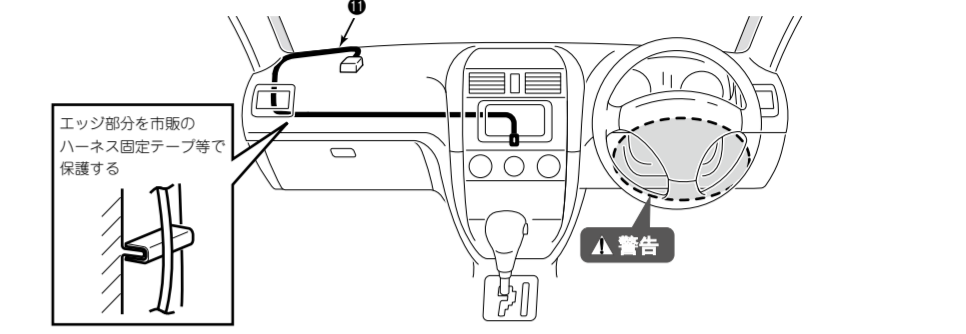
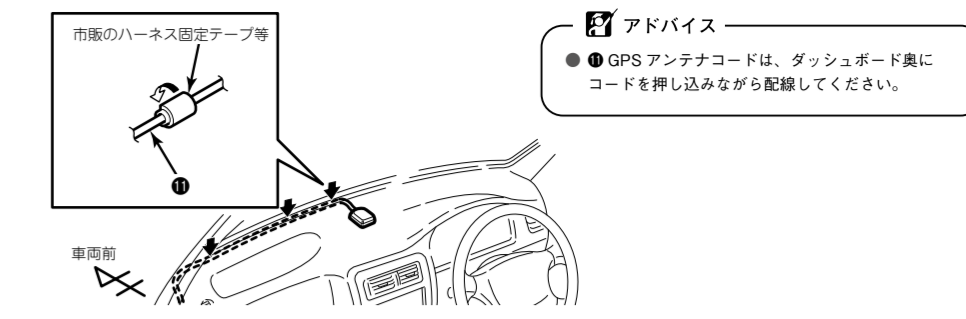
- ① GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。
- アドバイス**
- GPSアンテナは、電波の通りやすい、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 GPSアンテナを貼り付ける



- ① GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
 - ② ダッシュボードにGPSアンテナを貼り付ける。
- アドバイス**
- GPSアンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

3 GPSアンテナコードを配線する



- アドバイス**
- GPSアンテナコードは、ダッシュボード裏にコードを押し込みながら配線してください。
- 注意**
- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
 - 内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
 - あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。
 - コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ等に巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 警告**
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

GPSアンテナの取り付け上のご注意

GPSアンテナの取り付け上のご注意を表記しています。必ずよく読んでから作業をおこなってください。

注意

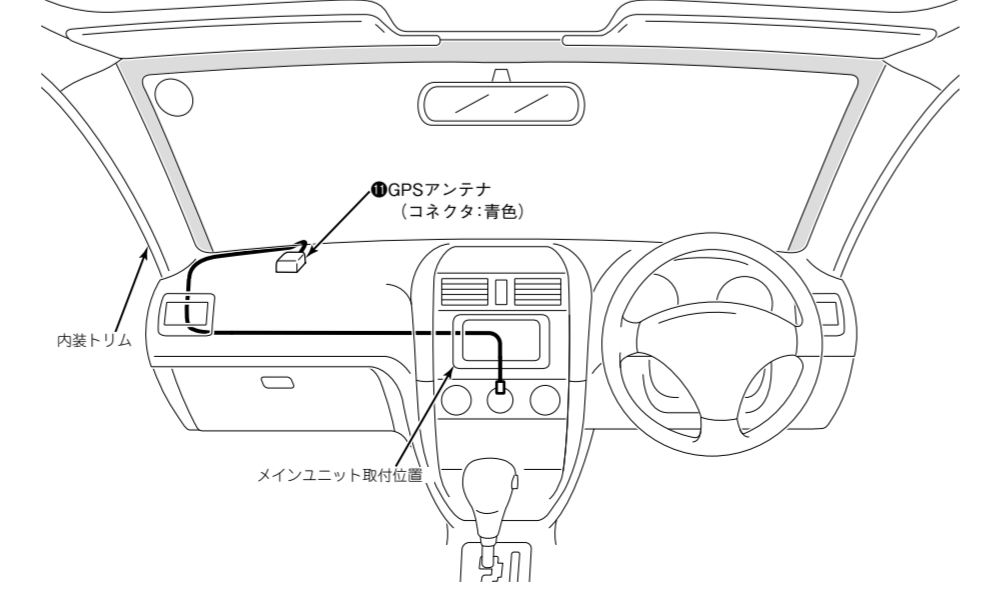
- GPSアンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPSアンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となる場合があります。
- GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。
 - 時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けしてください。

アドバイス

- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPSアンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けしてください。GPSアンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPSアンテナの貼付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などを十分ふき取ってから取り付けしてください。
- GPSアンテナを貼り付ける際、気温が低い(20℃以下)ときやガラスが曇ってしまうときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- 配線時、内装トリムを取り外します。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります)。



この資料は、法人向けの資料です。裏面に記載の内容もよく読み、切り取って大切に保管してください。

ナビゲーション取り付け時の店舗情報の登録

- 1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する
 - ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
 - シフトポジションや周囲の安全を確認してから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる



3 店舗情報および返却場所を登録する

指定場所を自宅として登録する場合

返却場所を登録する場合

操作手順

自宅 → 地図画面で現在地が表示 → 場所に問題がなければ「はい」 → 登録完了

操作手順

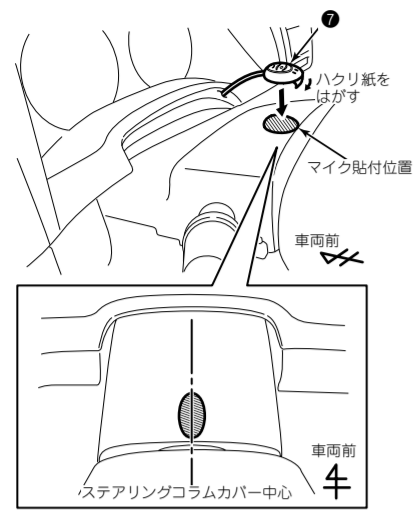
返却場所 → 再起動 → 現在地 → 電話番号検索 → /店舗検索 → 地図から検索 → 選択 → はい → 登録完了

* 現在地はカーソル操作などで移動させることができます。

* 詳しい操作方法については、「取扱説明書 [ナビゲーション編] (1) (P.46) を参照ください。

● ハンズフリーマイクの貼り付け(例)

1 ハンズフリーマイクを貼り付ける



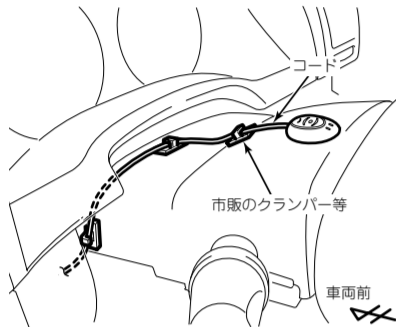
① ●ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。

② ステアリングコラムカバーの中心に
●ハンズフリーマイクを貼り付ける。

アドバイス

- ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ハンズフリーマイクは、チルト・テレスコピック時に車内部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



① ●ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

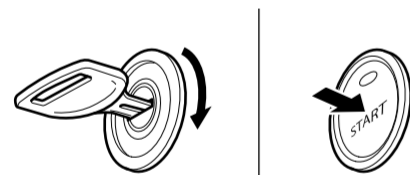
警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

● お客様からの車両返却後の対応について

お客様から車両が返却された際、本機を初期化する必要があります。下記手順に従って、初期化を行ってください。

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる



操作手順

MENU × 10 回押す → 「SuperApp」画面を表示

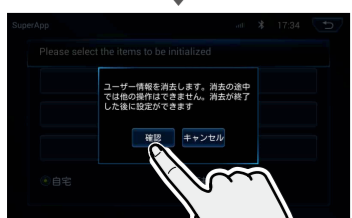
5秒間で10回押す

3 初期化を行う



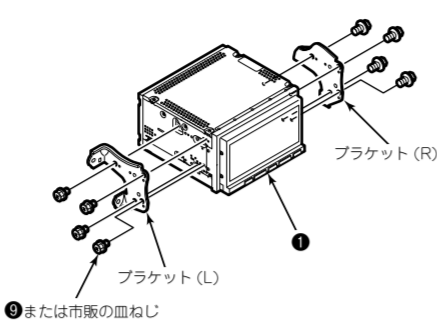
操作手順

初期化 → 確認 → 再起動後、初期化完了



● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す



- ① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り外す。
- ② オーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外す。
●オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用するブラケットは、車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ③ ●メインユニットにブラケットを取り付ける。

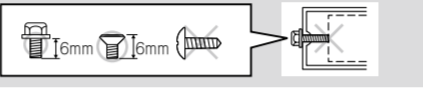
●または市販の皿ねじ

アドバイス

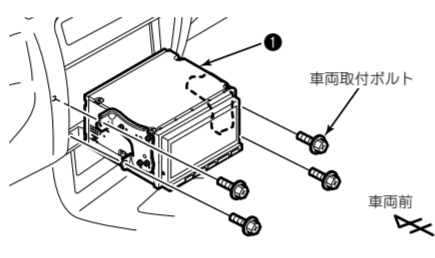
- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリアス web サイト「お客様サポート」内の「ジャストフィットガイド」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfitguide/>)をご確認ください。

●必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず指定のねじ(M5×6)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。皿ねじが必要な場合は、市販されている皿ねじ(M5×6)を準備して使用してください。



2 ●メインユニットを車両に取り付ける

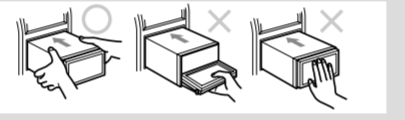


- ① ●メインユニットに各コードを接続する。
- ② ●メインユニットを車両に取り付ける。

お願い

- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置スレヤ、ディスプレイの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して、35°以内の角度で取付けてください。
- ディスプレイを手で押さえないでください。

車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損するおそれがあります。

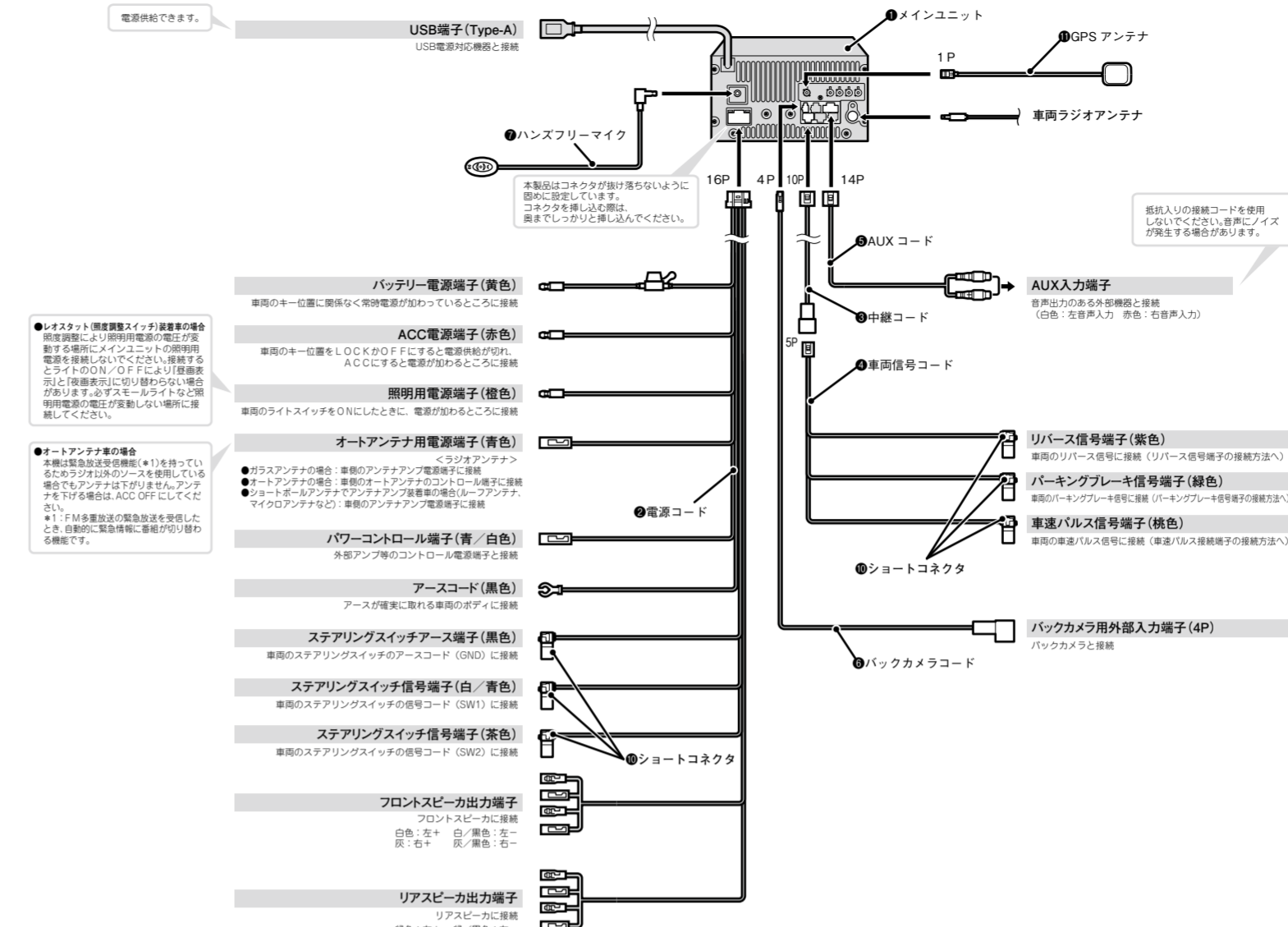


- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- メインユニットの取り付けが終わるまでパネルの保護シートは外さないでください。パネルの保護シートを外した状態でメインユニットの取り付けを行うと、ディスプレイに傷が付く恐れがあります。

また、操作時は必ず保護シートを外してください。外さないで使用するとタッチパネルが正しく動作しないことがあります。



● 接続のしかた



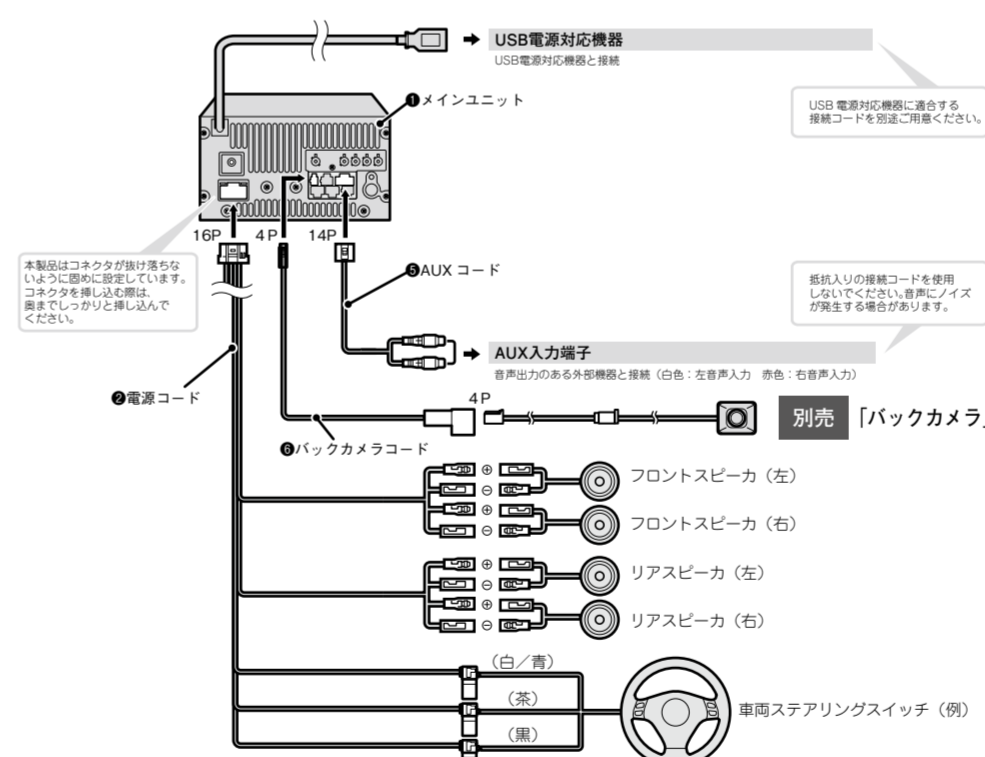
注意

- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用してください。指定外のショートコネクタを使用すると接続不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカー端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカー出力端子と電源/アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- アンテナコードは、本製品と同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。

アドバイス

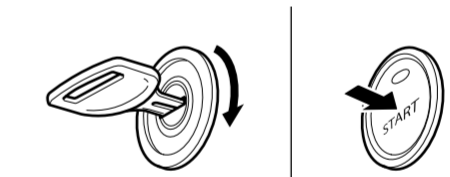
- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別交換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部接続、およびコードについては、イクリアス web サイト内の「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリアスの Web サイト内「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)をご確認ください。

● システム接続例



● 取り付け後の設定/作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

●本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

- ① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、車体前面「現在地」ボタンを押す。
- ② [メニュー] をタッチする。
- ③ [ナビ情報] をタッチする。
- ④ [ナビ] をタッチする。
- ⑤ [GPSセンサー情報] をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

お願い

- GPS受信感度しばらく経ってもGPS測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。
- 車速パルスGPS・センサー情報画面で走行中と車速パルス信号の状態を確認することができます。走行中、パルス回数表示が「0回」から変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号パーキングブレーキがかかっている場合、表示が「ON」に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が「OFF」に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リパース信号バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が「OFF」に、バックギヤにシフトしている場合、表示が「ON」に変わります。表示が変わらないときは、リパース信号の接続状態を確認してください。